

函館のまちづくりを考える はこまち通信

Vol. **45**
2018年7月
発行/函館市地域交流まちづくりセンター

NPOまつり
参加団体は、P11に掲載

まちづくりセンターまつり2018

第14回

7月29日(日) 10:00 ~14:00

NPOまつり

日本舞踊
「こ寿々会」
子ども達の
ステージ発表



箱館
チンドン
来場



★NPO法人 南北海道動物愛護
ネットワーク「みらい」
保護犬猫譲渡会



★ストレッチ
サークル レラ
キッズダンス



新鮮野菜の
販売・屋台も
あります。他にも
たくさんの
活動団体の催し
ものがあります。



同時開催 まちセン 夏休み
工作フェスティバル
2018



★函館将棋
倶楽部
大道 詰将棋



まちセン **休館日**
8月1日(水)

設備点検のため

はこまち対談 P2~3

「はこだて出会いサポートセンター JUNOALL」さんに活動について、聞きました

今号の市民活動団体

- ① 函館湾岸価値創造プロジェクト
- ② 観光ボランティア 縁ジョイ倶楽部



ピックアップ

- ・Tune Hakodate バルマネージャーの挑戦
- ・子どもを応援する会「ほんわか」

もくじ

- P2~3 はこまち対談
- P4 「移住サポートセンター」より
- P5 連載「気がつけば函館市民になっていた」
- P6~7 NPO・市民活動団体紹介
- P8 NPOワンポイントアドバイス/センター長のつづき
- P9 どんぐり2号店/ cafe Drip Drop
- P10~11 まちセンからのお知らせ

ご利用案内





NPO法人はこだて出会いサポートセンター
JUNOALL (ジュノール) 理事長

渡辺 友子さん

◆プロフィール

- ・NPO法人はこだて出会いサポートセンター JUNOALL (ジュノール) 理事長
- ・株式会社リード不動産 代表取締役会長
- ・住宅建物取引士・土地家屋調査士・不動産コンサルティング

【お問い合わせ先】

〒041-0844 函館市川原町18-2 ユートピア川原2号棟107号室 TEL.0138-83-2713

【聞き手】地域交流まちづくりセンター センター長 丸藤 競

今回は、婚活支援を行う「NPO法人はこだて出会いサポートセンター JUNOALL (ジュノール)」の活動についてお聞きしました。

対談

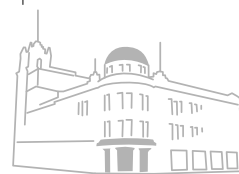
丸藤 ジュノールさんの特徴は？
渡辺 入会時に、まず趣味や考え方、収入など様々なデータを入れて頂きます。電話などでご予約の上、事務所にお越しただき1時間の中で専用の端末から自分に合いそうな方を3名までピックアップしていただきます。相手の同意がある場合、お見合いとなります。検索もお見合いも12960円の年会費の中で何回でもできます。
橋本 初めて会う時から趣味などを知っているので共通点を多く見出せて盛り上がると思います。

丸藤 婚活支援のNPO法人を設立しましたね。
渡辺 人口減少が日本の国力を衰退させていくというニュースを見て、未来の子どもたちや若者にとって痛手だろうなと思っていました。そういう時に、福岡でジュノールを立ち上げた盛和塾の仲間からお誘いを受けて、幸せな人をつくっていくことは良いことだと思いスタートしました。
橋本 私もこれはからは世のため人のために何かをしなくてはいけないなと思ってた時に渡辺さんから話を伺い「役買わせていただくことになりました。」

特集

はこまち対談

「幸せな人」をたくさんつくり、
 幸せなまちにしていきたい。



渡辺 どんな家庭をつくりたいかなどが予め分かっているとお見合いになるので、相性もよいですし結婚まで進むことが多くなるんですよ。また、全国に拠点ができていますので、函館以外の街にお住いの方と出会えるチャンスもあります。

丸藤 最初に相手とお会いする時は、どんな場所ですか？

渡辺 国立病院の隣にある団地の中にジュニールの事務所がございまして。その中のお見合いルームで面会していただきます。赤を基調にした素晴らしいお部屋です。ニューヨークやパリコレで活躍していたデザイナーがつくっていただきました。

橋本 情熱の赤ですか(笑)

渡辺 鏡がたくさんあるのですが、女性はその鏡を通して自分や男性を確認しながら話すことができるのに対し、男性からは自然に女性を見つめることしかできないようになっていっています。向かい合っているのではなく同じソファに隣同士で座るので気持ちに通じやすくなると思います。

丸藤 6月から本格的な活動が始まりました。

渡辺 幸せな人を見ていたら、私達も癒されますでしょ。そのお手伝いをできるというのがとても楽しいです。

橋本 幸せな人は必ず誰かを幸せにできます。その幸せをまちに広げていきたい。そのためには、まず自分が幸せにならなければいけませんよね。そ

のやり方を、キューピット会がサポートさせていただけたらと思うっております。

渡辺 ジュニールは既にいくつもの地域で活動しているのですが、函館で特徴的なのがキューピット会をつくったことなんです。お見合いをして結婚するには、ファッションや話し方、考え方も大事です。そういったことを一緒に勉強していきたいと思っております。

橋本 少しの魅力がプラスされるだけで、お互いにもっと輝けるようになりますからね。

渡辺 例えば今、女性が求めているのは穏やかなイクメンですから(笑)料理なども含め、そうなれるためのアドバイスもしていきます。

丸藤 何歳から入会できますか？

渡辺 20歳以上の独身の方。特に函館は、中高年の方に力を入れていきたいと考えています。函館でパートナーを見つけて、穏やかな老後を過ごしていただく。そんな出会いもいいですよ。ね。

丸藤 定住につながりますね。

渡辺 幸せなカップルが増えたなら嬉しいですね。中高年にとって、パートナーと一緒に食事したり、散歩したりすることが良い時間になります。そういう幸せも探していきます。

丸藤 実際に結婚するカップルができ、赤ちゃんが生まれることを考えると、これから楽しみです。

渡辺 結婚したから終わりではなく、循環していくようなイメージを持って

います。成長と希望と親睦です。気持ちのいい人たちの集まりに入ると、自分も救われますよね。そんな仲間が増えたらうれしいです。

橋本 お互いに意識を高め合っていてけると素晴らしいですよ。

丸藤 函館のまちづくりにも貢献できますね。

渡辺 お見合いの部屋をつくってくださったデザイナーが、こういう活動は続けていくと、きっと函館が昔みたいに垢抜けてファッションナブルなまちに戻ると思う、と言ってくれました。

事務所は団地の1階なのですが、素敵なファッションのお店や、カフェなどをつくり、若い方もお年寄りも、老若男女が集い広がっていくと「ザ・団地」になる。ここを軸に、お洒落な場所やまちになっていけたら嬉しいですね。

橋本 「ザ・団地」に自分が今まで見ていなかった世界が見えてきて、居心地が良いです。新しい感覚に自分の気持ちをおくことができ、また来てみたいという思いが函館に広がっていけばいいなと思います。

丸藤 最後に、独身の男女にメッセージを。

渡辺 結婚すると良いことであるんですよ。将来が不安で一歩踏み出せない方がいらつしやいますが、パートナーがいれば悩みは半分、喜びは倍になります。やがて子どもが生まれ、身内や友人・知人などのネットワークが増えていくと、とても大きな力になりま

す。未来を不安に思うのではなく今をきちんと確立していけばどんな試練でも乗り越えられると私は思っています。

橋本 東日本大震災をきっかけに、若者からも「ひとりぼっちが寂しい」という声を多く聞くようになってきました。一人であるより二人で力を合わせて明るく楽しく未来を考えていきましょう。函館の人は恥ずかしがり屋が多いですが、けれど自分の幸せを真剣に考える方にごそ一歩前へ踏み出していただきたいのです。結婚生活は楽しくて明るいということを、私たちがお手伝いや手助けしていきますのでご安心ください。

渡辺 事務所の中にかくさんの丸が飾られている場所があります。それは宇宙なんです。丸い輪が一人ひとりの輪それがつながっていくと、平和の輪になって幸せになるということ表しています。みなさんも、ぜひその輪の中に入ってきてみてください。



赤が基調となっている、「お見合い」をするための部屋

移住サポートセンターより

函館に移住された方をご紹介します。

「湯川から盛り上げる」 Tune Hakodate バルマネージャーの挑戦

私が働くTune Hakodateのコンセプトは、「音でつながる、旅をいづる」。「1階はライブステージを設け、世界中の旅行者、地元の方が音楽とお酒を通して繋がれる空間作りを目指しています。そして2、3階はゲストハウスで82床、4階はシェアハウスで10部屋あります。ライブイベントやワークショップなどを開催し、地元で愛される場を目指してスタッフ一同奮闘しています。

札幌から函館に来たのは2018年2月11日、札幌は平年ほどの積雪もなく、とても天気の良い日でした。車で約6時間かけて函館に着くと雪が多く、何より風が強く、来てしまったという事実と寒さに震えあがりました。それから数週間は猛吹雪の毎日でした。函館は雪が少なくないと聞いていたのに…。二度とここで冬を越したくないと思ってしまう。

この度、湯川に新しくオープンしたTune Hakodate Hostel

er & Music Barのバルマネージャーを任せられ移住することになったわけですが、当初函館のゲストハウスでバルマネージャーをやらないかというお話をいただいた時、ずっと私の気持ちに拍車をかけていたのは、函館という場所でした。函館の印象というのは、朝市、山、五稜郭、遠い、といった程度で、札幌から旅行で何度か来たことがあり、函館楽しい！イカ美味しい！なんて思っていました。ここに住むなんて考えたことはなかったです。それでも人口26万人都市、札幌とは違うけれど、人も遊ぶ場所もたくさんあるだろうと思っていました。

3月オープンに向け準備に追われる日々、外は毎日猛吹雪で、遊びは近隣の飲食店に行く程度でしたが、そこで出会う方々は暖かい人たちがかりで、若い人が湯川に来て嬉しいという声もいただきました。

それから約4ヶ月、夏を感じられる季節になつて行動範囲も広がってくると、まだまだ知らない函館があることに気づかされます。うちのスタッフはみんな酒飲みではないので、いつも一人で飲みに行きますが、そのお陰もあってか、行く先々で函館の人と話す機会がたくさんあります。たまに函館の訛りで何を言っているのかわからないことも多いです。

私が函館のことを聞くと皆さんが口を揃えて言うのは、函館の人はシャ

イで、閉鎖的だということ。

飲み歩くと思つていながらも、同年代の人をあまり見かけないということ。たまに出会って話を聞くと、友達がいらない、遊ぶ場所がないと言います。私にとって遊ぶ場所がないのは大問題です。

そして、私が感じたのは、函館の人は期待していない、今の状況に満足している、ということ。函館の人は求めるものがあるのに、それを実行する人がいない、先頭を切れる人がいない、こつこつとした声もよく耳にします。面白いのは皆さんが同じ印象を持っているということ。もちろん誰もがそうだとは一概には言えないにしても、とても不思議です。

そんな函館で私は何ができるか、最近よく考えます。札幌にいた時は、デザイナー、ブランドコンサルを仕事にしている函館でも続けたいという思いがありました。それと同時に、函館をもっと楽しい街にしたい、そう思うようにもなりました。

理由は私がまだ函館を楽しめていないから、そして同じような思いを持つ人がまだまだたくさんいると感じるからです。

札幌と比べて見てしまうことがあります。そしていつも、まだやれることがある、もっと楽しい街になれる、そう思っています。

いくら函館移住に抵抗があったとはいえ、来たからには地元のために、

もちろん自分のためになることに全力で取り組む、自分が楽しくなきゃ誰も楽しませることはできないという思いがあります。

函館は開港都市という特殊性と、歴史や文化的なリソースは豊富で新しいことにチャレンジするには良い環境であるように感じます。だから私個人として、イベントやメディア事業を軸に、函館というブランド価値を上げていけたらと勝手に思っています。

山口 颯朗



Tune Hakodate Hostel & MusicBar 1Fのカフェバー

Tune Hakodate Hostel & MusicBar

1Fのカフェバーでは、クラフトビール やカクテル、お食事も用意。ライブやワークショップなども随時開催、facebookページよりイベント情報をご確認いただけます。

営業時間
18:00-23:00 (22:30L.O.)
月曜定休

函館市湯川町1丁目30-1
駐車場4台有

<http://tune-hakodate.com/>
instagram:@tunehakodatebal



インバウンドに思う

インバウンドの威力を実感

今年の桜は早めでした。4月30日に五稜郭公園と函館公園に行ったのですが、どちらも満開。春が一気にやってきましたという感じがしました。

それにしても人の多いこと。とくに五稜郭公園では外国人観光客の多いことに驚きました。昼も2時を過ぎているのに、タワー前交差点にあるラーメン店、ファストフード店を角を回り込むほどの長蛇の列です。列から聞こえてくるのは元気のいい中国語。並んでいるのはほとんどが日本人以外の人々でした。

10年近く前になりますが、私が旅行者として函館に来ていたころには遭遇しなかった光景です。市民になった今もインバウンドとは無関係な仕事をしていますから、普段はその経済効果を実感することは皆無ですが、観光地にとって、

それがいかに大きいのかを目の当たりにしました。

当然、スタッフの増員も必要でしょう。「観光業は人手不足が深刻」というニュースの文句にも、突如納得感を覚えました。

アジア諸国の富裕化と日本

五稜郭公園では民族衣装のアオザイを着たベトナム人女性が、満開の桜の下を優雅に歩いている姿を見かけました。函館でも急増する外国人観光客。中国系のみならず、ベトナムほか、タイやマレーシアからの観光客も少なくありません。失礼な言い方かもしれませんが、まさかこんな時代が来るとは、というのが正直なところです。

私は1990年代の後半、よくアジアを旅していました。当時もシンガポールを筆頭に、タイ、マレーシア



お昼時をとうに過ぎても、交差点の角を回り込んでまで順番待ちの列のできるファストフード店。客の多くは外国人旅行者

は成長のさなかでしたが、ベトナムは華々しく登場した経済開放政策「ドイモイ」も試行錯誤の状況でした。首都ハノイにも靴磨きや絵はがき売りの少年がたくさんいて、外国人旅行者に執拗に売り込みをかけていました。世界最貧とされた「1人当たり年間GDP200ドル」というレベルをようやく脱したところで、外国人が利用するホテルにはベトナム人は立入禁止、ということでもない規制がまかり通っていました。

中国にしても、ようやく改革開放路線が緒に就き始めたところで、成長の最前線だった広州でも、マクドナルドの客は、廉価メニューのアイスクリーム一つで長居する家族連ればかり、という状況でした。

そのころのアジア各国では、金持ちニッポンからの観光客は、とびきりの上得意様であり、行く先々で土産品や観光サービスのセールス攻勢が待ち構えていました。今ではそれが見事に逆転したというべきか、日本人が、外国人観光客の消費に期待を寄せる時代になりました。

「ついで」は拝金主義

日本企業は、安い労働力を求めて海外に工場を展開しました。国内で

産業の空洞化が進む一方、工場を受け入れ、一生懸命働いたかつての途上国は、経済力を蓄えました。1990年代の後半から20年で起こった鮮やかな逆転劇は、その当然の帰結かもしれないですね。

日本にきたいという外国人が増えているのは嬉しいことですし、そのおかげで産業の空洞化の穴埋めもできる。何ら異議なしではありますが、ちよつと気になるのは、観光振興の文脈の中で、「富裕層向けの旅行商品」なるものが、近ごろよく話題に上るようになったことです。

もっともらしい言葉のようですが、こういう商品が登場し話題になるということは、「お金持ち大歓迎」と言っているに等しいわけです。ホントはそうかもしれないですが、露骨すぎやしませんか。「おもてなしの国」日本としては、お金を落とさない人も大歓迎といきたいところです。

★プロフィール★

おおにし つよし
大西 剛さん

1959年生まれ、大阪出身。
2011年秋より函館に移住し、「新函館ライブラリ」を設立。
通り一遍の観光客ではなく、コアな函館ファンに訴えるような函館本の出版に取り組むほか、函館のブランド力に頼らない出版企画も模索中。

NPO・市民活動団体紹介のページ

函館湾岸価値創造プロジェクト

■どんな団体？

函館湾岸に埋もれた地域資源を掘り起し、光を当てて価値を創造するプロジェクトを行っております。現在力を入れているのが「函館湾岸コンクリート物語」と称して、我国のインフラの近代化に果たした函館のコンクリート構造物の物語をまとめ、観光資源として活かしていく活動を行っています。

■団体のPR

函館は観光都市として日本全国に名前が知られています。函館山からの夜景や五稜郭・ベイエリア赤レンガ倉庫群など、いつも観光客で賑わっています。そんなメジャーな観光地だけでなく、ほとんど知られていない魅力的な地域資源が他にも沢山あります。

当プロジェクトでは、その中でも「コンクリート」に焦点をあて、その文化を発掘し、磨き上げ、多くの方々に貴重な価値を知ってもらおう事を目標に様々な活動を行っています。

最近の活動では、昨年の10月から今年1月にかけて、「道南のコンクリート建造

物」をテーマにフォトコンテストを開催しました。86点の応募があり、そのうち14点の作品に対して最優秀賞を含めた各種賞を授与しました。

また、笹流ダムや元町配水場、東本願寺など、一般的にはまだ知られていない函館の隠れた魅力を巡るバスツアーも開催しています。

■会員募集など

当プロジェクトには、歴史・地理・建築・観光・金融・教育など様々なジャンルの専門家や未来を担う大学生が集まり活動しています。興味のある方は下記連絡先までお願いします。



フォトコンテスト表彰式



笹流ダムと紅葉



街歩き撮影ツアー

函館の価値、再発見。

■これからの活動

9月1日・2日・3日に「開港5都市景観まちづくり会議」が函館市で開催されます。(開港5都市とは、安政5年に開港港に指定された函館、新潟、横浜、神戸及び長崎の5都市で、毎年各地持ち回りで開催する会議です。)

当プロジェクトでもバスツアーを開催します。みなさんもぜひ参加してください。また、フォトコンテストで受賞した写真を元に「コンクリートカード」を作成しました。配布の方法については、検討中です。

函館湾岸価値創造プロジェクト

■代表者名／布村 重樹 ■事務局長名／池ノ上 真一 ■会員数／33名
 ■電話／0138-44-4303 ■ホームページアドレス <http://grhabip.jp/>

NPO・市民活動団体紹介のページ

観光ボランティア

縁ジョイ倶楽部

■どんな団体？

2015年に観光ボランティア団体として発足しました。

函館に来られた方に歴史、自然、文化を分かりやすく楽しい案内でもてなし、市内、近郊の方には、函館の街の再発見、今まで当たり前だった街の景色がとても貴重なものだ感じてもらえるガイドを行っています。

函館市民や街に住む人みんながガイドだと思います。道に迷っている人に行き先を教えるだけでなく街の情報をプラスし「道・案内」をしてあげると函館の街の魅力が伝わる事でしょう。

■団体のPR

4月GW前から10月末の毎週土曜日10時から16時前まで五稜郭公園にて、無料で案内を行っています。一ノ橋から奉行所前まで20分ぐらいでご案内しています。ご希望があれば奉行所内や五稜郭タワーの案内をすることもあります。

また、依頼を受けて市内(西部・元町・ベイエリア)もガイドをしています。メンバーの中には語学が堪能な者もいます。

るので最近多くなった海外の方にも対応しています。11月から3月は自分達のスキルアップのためにガイドの基礎知識の勉強、各施設での研修、五稜郭・西部地区での実地研修を行っています。

メンバーは始めからガイドが出来た訳ではありません。経験者が体験して得た事をもとに指導し、メンバー全員が基本知識と情報を共有し、各々の個性をプラスしガイドをしています。知識だけを披露するのではなく、わかりやすく聞いていて楽しい案内をモットーに活動しています。

■会員募集

現在の会員数は19名です。

ガイドをする方は勉強熱心な方が多く、知識豊富なのですが、いざ人を案内する時にどれぐらいの知識を話せばいいのかわからない戸惑う事もあるようです。持っていることを全てを話しても聞く側にはつまらないかもしれません。案内



お客様をご案内中



五稜郭一ノ橋横でのぼりをもって



五稜郭タワー内にて観光窓口対応

にはちよつとした「ツツ」もあります。難しく考える事はありません。縁ジョイ倶楽部では独自の資料をもとに研修をし、経験者の案内を学びながらガイドデビューしていきます。

■これからの活動

10月まで毎週土曜日10時から15時30分ぐらいまで五稜郭公園一ノ橋付近で無料案内を実施しています(雨天中止)。身近な場所をどんなふうに案内しているか、ぜひ聞きにいらしてください。

「函館に来た人に

Enjoyを!

函館を伝える人に

Enjoyを!

観光ボランティア 縁ジョイ倶楽部

- 代表者名/加藤 政代 ■事務局長名/上平 明 ■会員数/19名
- 電話/080-1860-7374 (加藤) FAX/0138-23-6550
- メール qookatojp@yahoo.co.jp

NPOワンポイントアドバイス!

「会議」を効果的・効率的に行うことができると、組織の力も強くなっていきます。
 そのためには、会議のタイプ別に攻略法を知る必要があります。
 そこで、43号からシリーズで紹介している会議のタイプ別攻略法。今回は、第3弾になります。

4. アイデアを整理する会議

アイデアは、出しっぱなしでは意味がありません。そこで、出たアイデアを意味のあるものにするために必要な整理のしかたをご紹介します。

a. 次元をそろえる

アイデアの整理の第一歩は、次元をそろえることです。

例えば、イベントの屋台に出す食べ物を考える時、「おでん」「焼きそば」「たこやき」といったアイデアに並んで「洋食」とか「何か冷たいもの」というアイデアが混ざっていると議論が整理しづらくなります。次元がバラバラの時は、「料理の品目」か「料理のタイプ」なのかのように、まず、どういう観点から整理するのかを決めましょう。

b. 軸を使って整理する

たくさん出されたアイデアを、二つの軸で分類してみる方法です。例えば、縦軸を「ニーズ」、横軸は「実現可能性」とし、それぞれの高い低いを考えながら配置し直すと、今すぐ必要でかつ実現可能が高いものが見えてきます。既に質の高いアイデアが出ていたり、たくさんあるものの中から何か一つを選び出す場合に向いています。

c. グループ分けしてみる

バラバラに出てきたアイデアを、近いものどうしでグループ分けし分布図のようにしていく方法です。全ての要素を洗い出して対策を考えていく時や、多様な要素をまとめていく時などに有効です。付箋と模造紙を使ったKJ法や、コピー用紙を床に置いていく床面整理法などがあり、チームとしての一体感を高めることも期待できます。

参考:青木将幸著『市民の会議術 ～ミーティング・ファシリテーション入門～』(ハンズオン埼玉出版局)



センター長のつぶやき

まちづくりセンターセンター長 丸藤 競

「地域を元気にする4つのベル」というのがあります。食べる・しゃべる・遊べる・学べる。この4つがあると、地域に住んでいる人たちがみんな元気でいられるようになるそうです。では、どうすればこの4つのベルを鳴らすことができるようになるのでしょうか。

一番は、社会参加を積極的にしていくことです。社会参加というと難しく聞こえてしまうかもしれませんが、ボランティアをしたり、サロンや居場所に顔を出してみたり、趣味の集まりや

まちづくり活動に参加していくことも社会参加になります。町会活動や、隣近所のちょっとだけ困っている人への助け合いも、イベントやコンサート、フォーラムなどへの参加ももちろん社会参加です。

社会参加なんて一部の人のやること、あるいは仕方なくやらされるもの、と思っている方がいるかもしれませんが、それは間違いです。東京都健康長寿医療センターの調べでは、毎日のように外に出て何かをしている人と、外に出るのが一週間で一回以下の人とでは、出ない人の方が約3.5倍、認知症になりやすいというデータもあります。つまり、自分の元気のために一番効果的なのが社会参加なんです。

社会参加をしていくと、自分も地域も元気になっていくということです。あんまりお金もかからないし、充実感は保証します。みなさんも、ぜひ積極的に社会参加して、地域に4つのベルを奏でてみてください。



▲刺し子のポーチ



▲ねこのポーチ

福祉の店
どんぐり
2号店

(まちづくりセンター1階)

いっせいに咲きだす北海道の花は豪華絢爛と言われ、私たち市民の目を楽しませてくれました。桜やつつじも終わり、春から夏に移り行く感じがします。この季節の移り変わりを見ると、厳しい冬が過ぎ短い夏を迎えたこの時期が最も過ごしやすい時期ではないでしょうか。外出を控えてきていた方も、外に出やすい時期になりましたので、地域交流まちづくりセンターに出かけてみませんか。

まちづくりセンター正面玄関を入りますと、すぐ右側にあるのが福祉の店「どんぐり2」です。障がいを持っている方が、日中活動を行っている事業所で、心を込めて作成している品物を展示販売しております。担当職員が、製品の紹介をしながらか客させていただきます。今後とも変わらぬご愛顧を心よりお願い申し上げます。

■営業時間 / 10:00~16:00

■定休日 / 土・日曜日・祝日

製品は、函館市総合福祉センター1階・函館市役所地下売店でも販売しています。

◎りんごの花酵母のお菓子
七飯の道の駅「なないろ・ななえ」がオープンして、賑わっていますね。買い出しに行七飯の道の駅「なないろ・ななえ」がオープンして、賑わっていますね。買い出しに行った帰りに覗いてみました。七飯の名産品がたくさん!かなりの品揃えです。週末のケーキをお願いしている「pippin0138」も出店していて、七飯の「りんごの花酵母」で作ったマフィンやスコーンが好評のようです。函館高専の学生が研究し抽出したりんごの花の酵母、ここから元種を起こしお菓子の生地を作ります。ふんわりとりんごが香るやさしい味。卵や乳製品など動物性の材料を使わない「ヴィーガン」のお菓子が人気のpippin0138。当店にもときどきマフィンやスコーンが入荷しておりますので、ぜひご賞味くださいませ。

◎タイムトラベル
雪解け頃からせつと家の整理をしていました。ふだんあまり触らない押し入れの中から出る出るわ、懐かしのあれこれ。映画や芝居やコンサートのパンフレット、参加したイベントのチラシ、友人たちが作っていたミニコミ誌、旅行の写真に行程表や観光施設の子ケットなどを貼ってアルバムを作っていたり(マメだったなあ)、以前やっていた店のニュースレターもあったり。ついつい読みふけて全然片ついてない!しばらく旅行らしい旅行はしていませんが、タイムトラベルができました♪

◎マーマレード募金
3月から4月にかけて、甘夏みかんのマーマレードを販売しました。“楽しみに待っていたわ”というお客さまもいらして、おかげさまで完売しました。この売り上げと「book星の駅」様からのご寄付とを合わせまして14000円を、「子どもを応援する会 ほんわか」さんにお渡しいたしました。今年も東日本大震災被災地の子もたちが夏休みを過ごしてやります。おいしいもの食べて、たくさん遊んでいろんなこと体験して、北海道の夏を満喫してほしいですね。

ほんわかのblog <https://ameblo.jp/silky787>

◎インスタグラム
3月より、焙煎室Handpickとcafe DripDropの合同のインスタグラムを始めました。
https://www.instagram.com/coffee_handpick/ フォローしてくださいね。

cafe DripDrop★米田尚子



煎りたて珈琲と
地物野菜メインのお食事

cafe DripDrop

カフェドリップドロップ



国際民俗芸術祭のスポンサーパス・もぐフェス金券販売中!

■営業時間 / 10:00~18:00

■定休日 / 水曜日

ホームページ

<http://handpick.cafe.coocan.jp/>

子どもを応援する会「ほんわか」～温かい思いに感謝～

こんにちは
子どもを応援する会「ほんわか」(旧被災地の子どもを応援する会「ほんわか」)の紹介です。

私達は、2011年東日本大震災の年の秋、主婦4人が集まって、子ども達に対し「自分たちで何か出来ることは無いか?」と立ち上げたボランティア団体です。

2012年夏休みからホームステイの形で小学生20名を受け入れ始めました。



新幹線はまだ無かった…スーパー白鳥 2012年

会は正会員と賛助会員の会費、寄付募金を中心に資金を集め夏休みプロジェクトに使います。

他、1年を通して活動し、被災地を忘れない企画を実施し募金活動もしました。



外で元気に牧場体験 2013年

そんな私たちの活動の原点は、「水曜マルシェ」でした。

手作り品を売り、その資金で夏休みの子どもの食費にしていました。七飯町から月に2回やって来た月もあります。



まちづくりセンター「水曜マルシェ」での出店

水曜マルシェでは、沢山の出会いがあり、子ども達へ食糧の提供や花の苗の提供など、地域の方々から応援していただきました。



NHKの取材で福島県内でも放送されました。 2014年

「5年目で解散!」と思っていたら1回目の参加者が函館への高校進学を希望していると聞き、彼が卒業するまで頑張ろう!と延長になり、そして今年度が最後の年です。

来年3月をもって解散するにあたり報告展示会『ありがとう「ほんわか」2012年～2018年～温かいおもいに感謝～ほんわか活動終了』を9月5日～11日函館市地域交流まちづくりセンター1階で開催します。

子どもを応援する会「ほんわか」

■代表者名/田中 いずみ ■広報/工藤 修一 ■会員数/152名1団体会員(2017年末時点)
■電話/090-9754-3612(田中) ■電話/090-1520-9812(工藤)

まちセンからのお知らせ

第14回 NPOまつり参加団体

- 就労継続支援B型 リバース
 函館手工芸の会
 函館市共同募金委員会
 世界に一冊だけの本・展 実行委員会
 函館生涯学習インストラクターの会
 NPO “箱館写真” の会
 喪の悲しみを癒やす会
 NPO法人 のぞみ会函館
 みんなのさぼーたーわっとな
 骨髄バンク.GATHERの会(ギャザー)
 函館地方腎友会
 社会福祉法人 函館市社会福祉協議会
 北海道理学療法士会 道南支部
 はこだて検定合格者の会
 函館メサイア教育コンサート実行委員会
 函館の音楽と歴史を考える会
 NPO法人 ひまわり
 NPO法人 日本FP協会 道南支部
 就労継続支援B型事業所 あいりす
 NPO法人 ケアマネジャーネットワーク函館
 折り紙の会
 ゆうとぴあ友の会
 函館障がい者地域生活支援事業者連絡協議会
 NPO法人 はこだて出会いサポートセンター ジュノール
 NPO法人 南北海道動物愛護ネットワーク「みらい」
 朝鮮女性と連帯する函館の会(トナムの会)
 コーチングワークショップ函館
 函館チンチン電車を走らせよう会
 NPO法人 函館市電の熟練工の技を伝える会
 函館映画鑑賞協会
 北海道作業療法士会
 北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会
 ナルク函館はまなす
 NPO法人 自立の風かんばす
 しそーらす
 択捉島水産会
 手づくりボランティア工房「エンジョい」
 一般財団法人 函館YWCA
- NPO法人 函館レクリエーション協会
 「心喜ぶ、思いっきりアート」
 ストップ大間原発道南の会
 函館・「下北」から核を考える会
 NPO法人 函館市体育協会
 NPO法人 シンクタンクグループ 函館スローマリン
 健康生活ネットワーク
 開港5都市景観まちづくり会議
 就労継続支援B型 ら・ぱれっと
 道南模型寄合 どーなんよ
 Moon Stone
 NPO法人 つむぎ
 「向日葵のかっちゃん」函館公演実行委員会
 シーズネット函館支部
 NPO法人 地域支援グループ くりの木
 東欧の刺繍を楽しむ会
 函館中途失聴者・難聴者協会
 北海道自閉症協会 道南分会
 函館演劇鑑賞会
 北海道メンタル評議会
 函館将棋倶楽部
 函館リコーダー音楽祭実行委員会
 ワークセンター一条 ふらっとCafe by Cog
 まちづくり千絵画教室
 公益財団法人 北海道移植医療推進財団
 ストレッチサークル レラ
 函館地区里親会(かもめ会)
 おにぎりあゆみ屋
 NPO法人 NPOサポートはこだて
 Bay Walk Community はこだて
 フードバンク道南協議会
 箱館チンドン
 NPO法人 日本障害者・高齢者生活支援機構
 函館こども劇場
 こ寿々会
 NPO法人 千蛭社
 教育音楽ぐる〜ぷ どるちえ
 函館音楽と文学の会

施設利用料金

税込(円)

階	会場名	面積	参考レイアウト		基本料金	
		m ²	形	席数	単価	金額
2階	多目的ホール	272	シアター	約100	1日あたり	10,000円
			スクール	約60		
	研修室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	500円
			スクール	約30		
	研修室C	24	シアター	約30	1時間あたり	500円
			スクール	約20		
3階	会議室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約30		
	会議室C	24	シアター	約30	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約20		

※会場には、テーブル、イス、ホワイトボード、空調設備を備えています。※駐車場/2時間無料、超過30分までごとに100円
 ※営利目的(入場料を徴収したり、物品を販売するなど)で使用する場合は、割増料金となります。

備品利用料金

備品名	利用料金
音響機材(研修室・会議室用)	1,000円
音響機材(多目的ホール)	2,000円
プロジェクター	1,000円
スクリーン	500円

※その他、設備等については、ご相談ください。

活動支援費 要相談 不要 1,000円

印刷機使用料金 ※用紙代別

- ① 製版代/1枚……………100円
- ② 印刷枚数/10枚まで……………10円
(以後10枚毎に10円加算となります。)

※例) 12枚/20円、137枚/140円、1543枚/1,550円です。
 ※①製版代+②印刷枚数が必要です。
 ※印刷用紙は各自でご用意ください。また、小銭のご用意をお願いします。

コピー料金

- ① 白黒/B5・A4・B4・A3…1枚 10円
- ② カラー/B5・A4・B4…1枚 50円
- ③ カラー/A3…1枚 100円

横断幕プリント/ ポスタープリント料金 ※用紙代含む

- ① 610mm×1.5m…1枚 2,400円
- ② 610mm×3.0m…1枚 2,600円
- ③ 610mm×4.0m…1枚 2,900円
- ④ 610mm×5.0m…1枚 3,200円
- ⑤ A2版(420mm×594mm)1枚 1,200円
- ⑥ A1版(594mm×841mm)1枚 1,400円

※横断幕は文字原稿、ポスターはチラシ又はPDF形式で原稿をお持ちください。

■【各施設の使用申し込みについて】

- 利用日時、利用目的をご確認のうえ、TEL.0138-22-9700、または、函館市公共施設予約システムよりお申し込みください。
<https://yoyaku.e-harp.jp/hakodate/>

【お問い合わせ】



函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL.0138-22-9700 開館時間 AM9:00～PM9:00

FAX.0138-22-9800 休館日 年末年始(12/31～1/3) ※器材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。

ホームページ <http://hakomachi.com/> 函館 まちセン

【指定管理者】NPOサポートはこだてグループ